

新中期経営計画「*New Challenge 2020*」 概要説明会資料

稲畑産業株式会社
代表取締役社長 稲畑 勝太郎

2017年 6月23日

◆新中期経営計画策定にあたり、当社が目指す長期ビジョンを策定



◆今後10～15年後を念頭に、将来像を想定

機能 : 商社機能を基本としつつも、製造・物流・ファイン等の複合的な機能の一層の高度化を図る

規模感 : 連結売上高 1兆円以上を早期に実現

海外比率 : 70%以上

ポートフォリオ : 情報電子・合成樹脂以外の事業の比率を1/3以上に

新中期経営計画「*New Challenge 2020*」 (略称 *NC 2020*)

【方針】

長期ビジョン「*IK Vision 2030*」達成に向け、
スタートとなる中期経営計画と位置づけ、
「*New Challenge 2016*」で積み残した課題に
取り組むと共に、更にその先を目指す

2021年3月期を最終年度とする4年間の中期経営計画

定量目標	2021年3月期
売上高	7,300億円
営業利益	155億円
経常利益	160億円
親会社に帰属する 純利益	120億円
ネットD/Eレシオ	0.4以下
想定為替レート	USD1=110円

【重点施策】

1 海外事業の更なる拡大と深化

2 成長が見込める市場・未開拓分野への注力

- ・自動車、ライフインス・医療、環境・IT分野へ引き続き注力
- ・食品を含む農業分野への新たな展開

3 グローバルな経営情報インフラの高度化

- ・グループ全体最適の徹底
- ・海外事業のマネジメントの高度化と標準化

4 商社ビジネス拡大に向けた投資の積極化

- ・商社ビジネス拡大を主たる目的としたマイノリティ投資の実施
- ・リスク・金額を限定したマジョリティ投資の検討

5 保有資産の継続的な見直しと財務体質の強化

6 グローバル人財マネジメントの確立

事業環境

- ◆液晶関連は中期的に微増、パネル生産は中国へのシフトが続く
- ◆複写機・プリンターは成熟産業だが、産業用に成長の余地あり
- ◆太陽光発電は、日本では期待薄だが、海外で成長が続く

ポートフォリオ方針

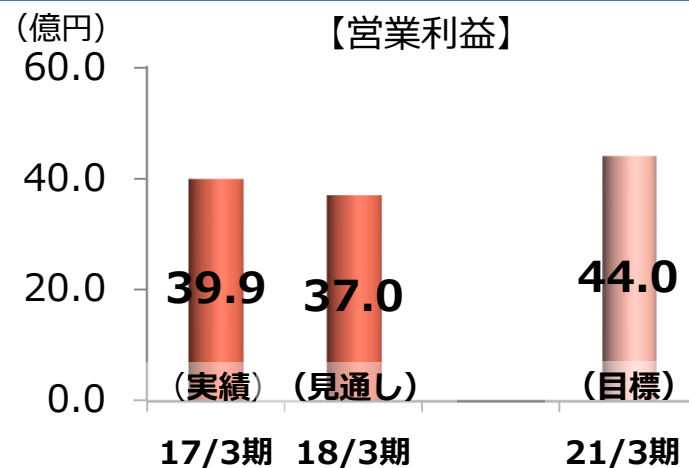
- ◆液晶ビジネスは、中期計画の期間中、引き続き主力事業として収益の維持を図る
- ◆長期的に、現主力事業の成長鈍化も想定して、新規ビジネスの拡大に注力

収益ドライバー

- ◆液晶関連部材
- ◆複写機・プリンター関連部材

成長ドライバー

- ◆太陽光発電・リチウムイオン電池関連
- ◆「創エネ」に加え、「蓄・放・省エネ」ビジネスの展開



事業環境

- ◆国内の既存マーケットは変化が少なく、当社が扱える商材の市場も限定的
- ◆外資系化学メーカーが、日本市場において営業を商社に任せる動きあり

ポートフォリオ方針

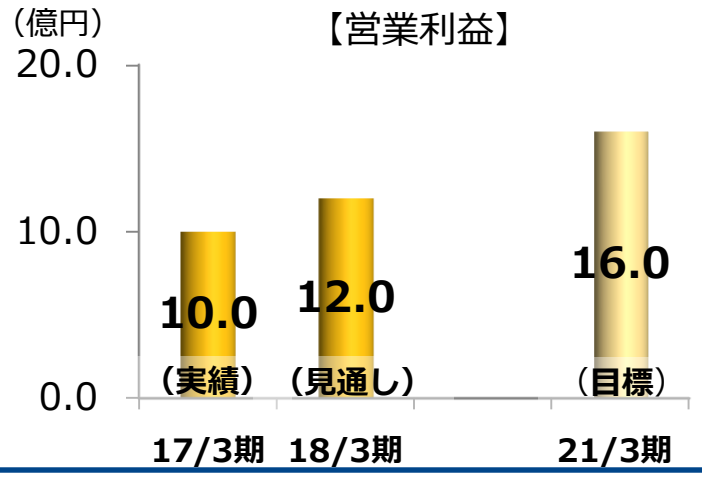
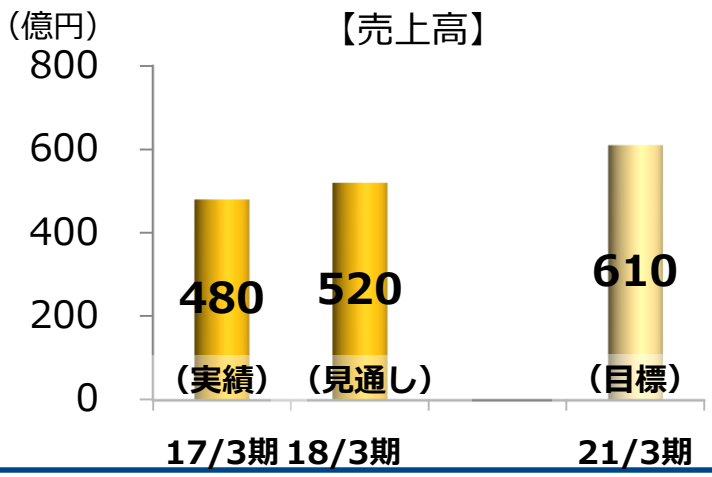
- ◆自動車部品業界の更なる深堀り
- ◆自動車業界をメインとしたコーティングビジネスの拡大
- ◆外資系化学メーカーとの取り組みを強化

収益ドライバー

- ◆自動車部品原材料関連
- ◆コーティング（塗料・インキ）関連

成長ドライバー

- ◆放熱部材関連（ポリマテック社）
- ◆グラスウール入り樹脂等 新規商材



事業環境

- ◆ 医薬は、新薬市場と再生医療が緩やかに成長
- ◆ ホームプロダクツは、国内市場が飽和状況、新興国市場は拡大
- ◆ 食品は、先進国では健康、安全志向へ、新興国では食の消費増進む

ポートフォリオ方針

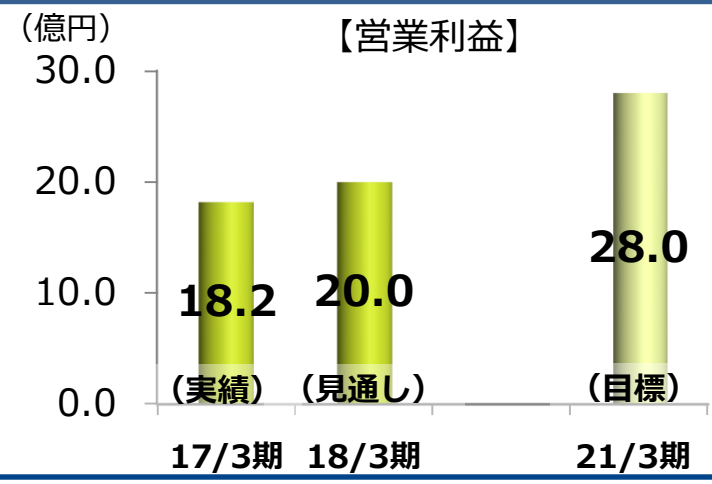
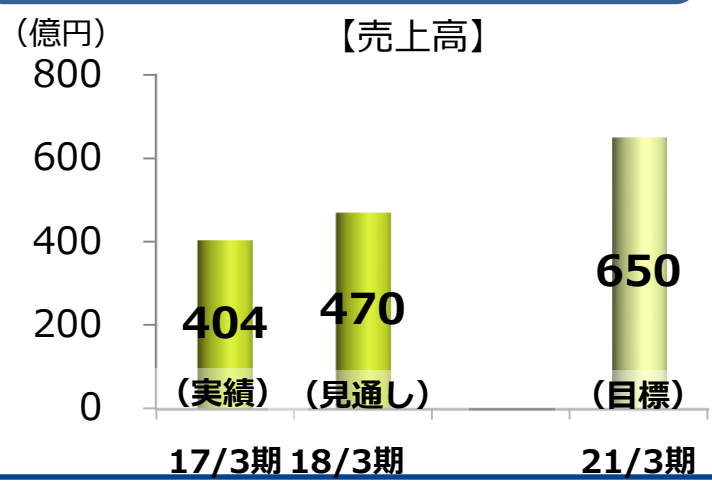
- ◆ 新薬・原料ビジネスは、有望テーマを拡充。先端医療分野に最注力
- ◆ ホームプロダクツ・食品は、海外を含めた市場拡大による売上拡大を図る
- ◆ 食品では、生産者ポジションと加工業への進出を進める

収益ドライバー

- ◆ 医薬原料（新薬）
- ◆ ホームプロダクツ原料

成長ドライバー

- ◆ 再生医療などの先端医療
- ◆ ブルーベリーを中心とした農産品
- ◆ 新たなビジネスモデルの構築（農業、食品加工業）



事業環境

- ◆顧客・サプライヤー共にグローバル化の動きが加速
- ◆グローバル対応が可能な商社への集約化選別が進む

ポートフォリオ方針

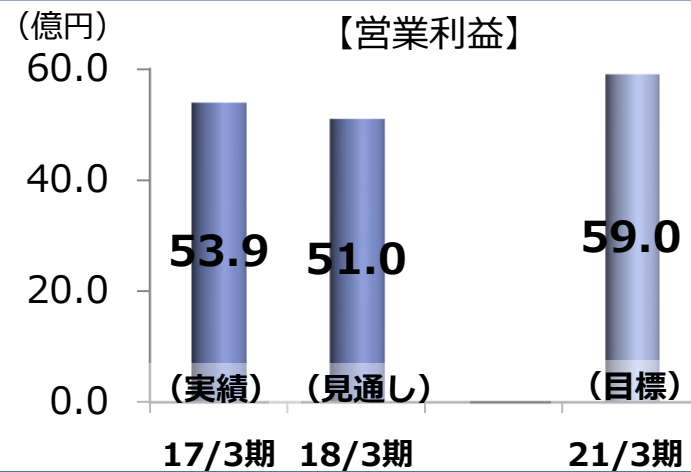
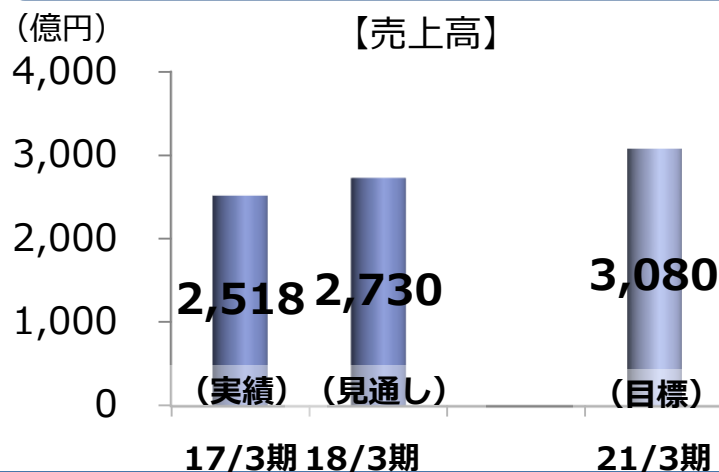
- ◆コンパウンド事業を武器に樹脂の販売を拡大
- ◆自動車分野と特に北米市場に注力

収益ドライバー

- ◆自動車、OA、家電分野向け樹脂
- ◆製造・加工を含むフィルム関連

成長ドライバー

- ◆グローバルユーザーへの販売
- ◆海外事業の更なる拡大（地域・分野）



事業環境

- ◆新設住宅着工件数は減少が続く見通し
- ◆リフォーム市場は拡大
- ◆大手ハウスメーカー、住宅設備機器メーカーの海外進出加速

ポートフォリオ方針

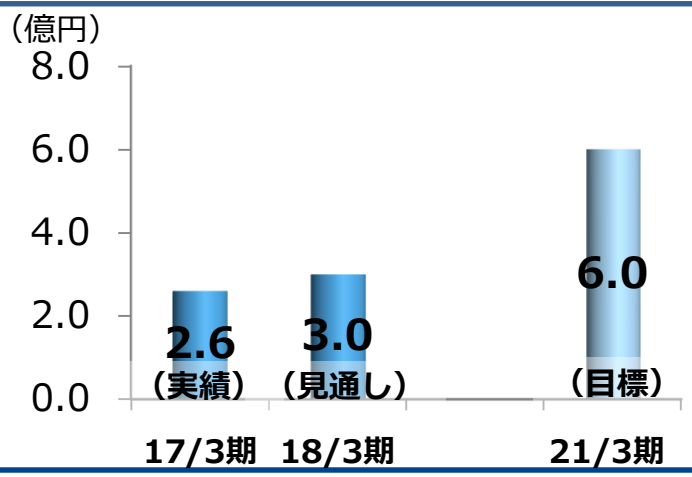
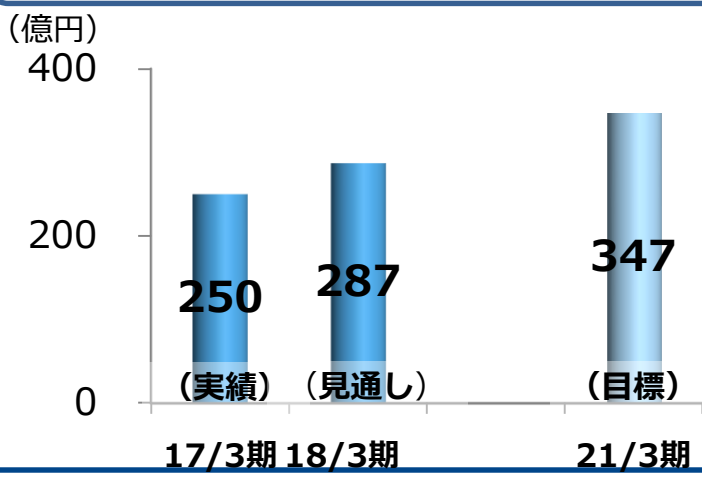
- ◆海外市場への拡販
- ◆非住宅分野へ注力

収益ドライバー

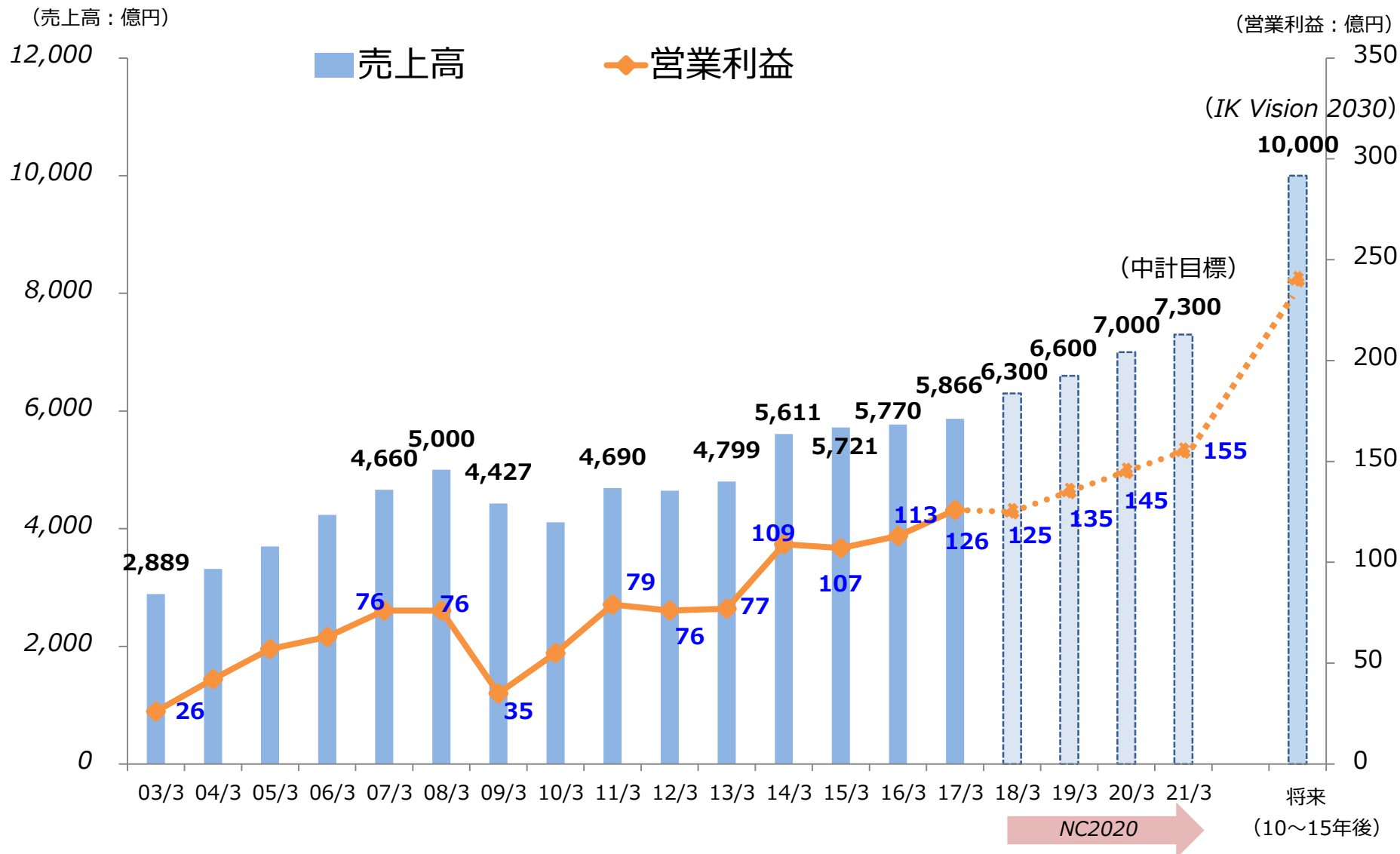
- ◆大手ハウスメーカー、住宅設備機器メーカー向け資材

成長ドライバー

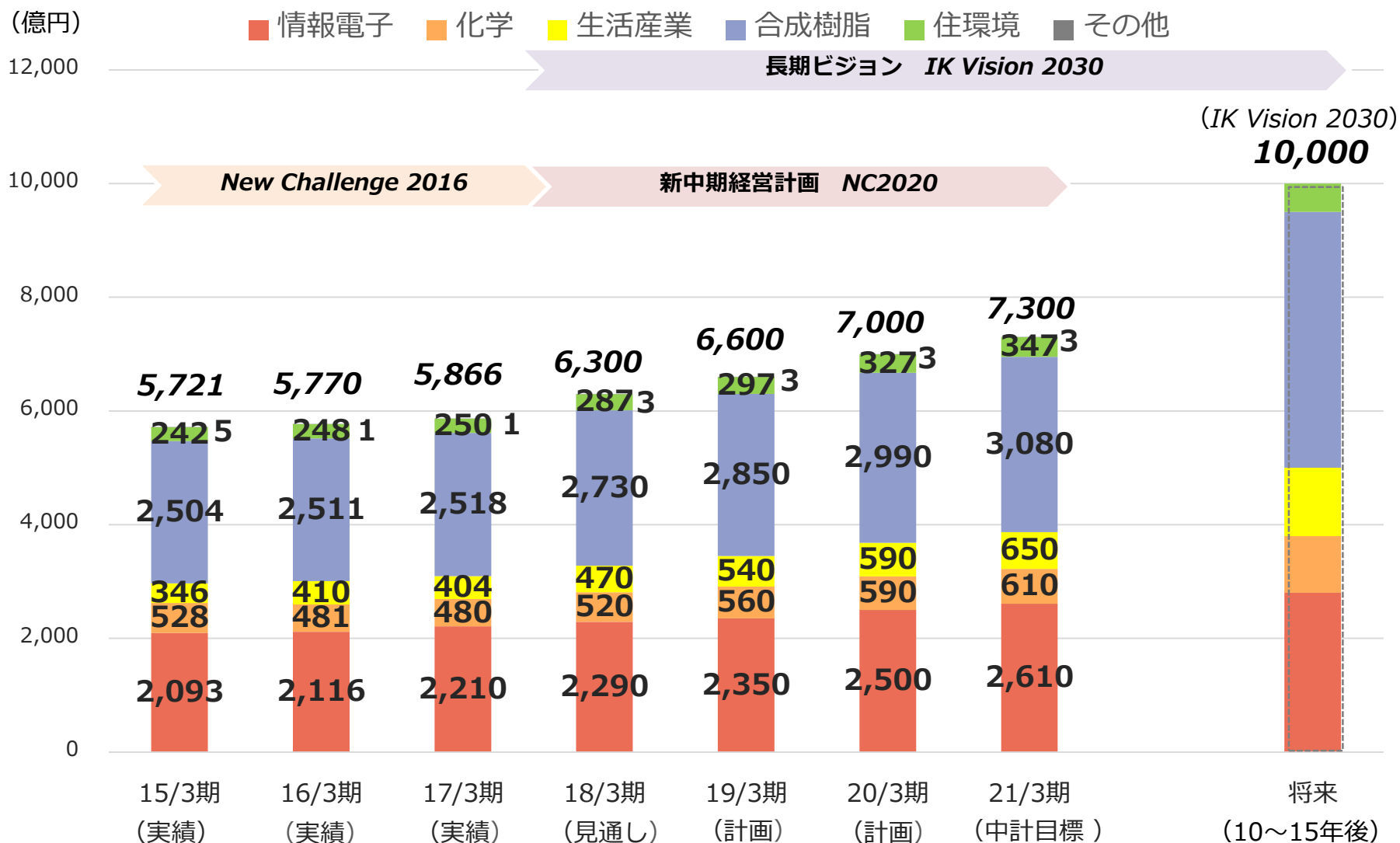
- ◆海外市場（フローリング等）
- ◆非住宅分野（ウレタン原料、チップ等）



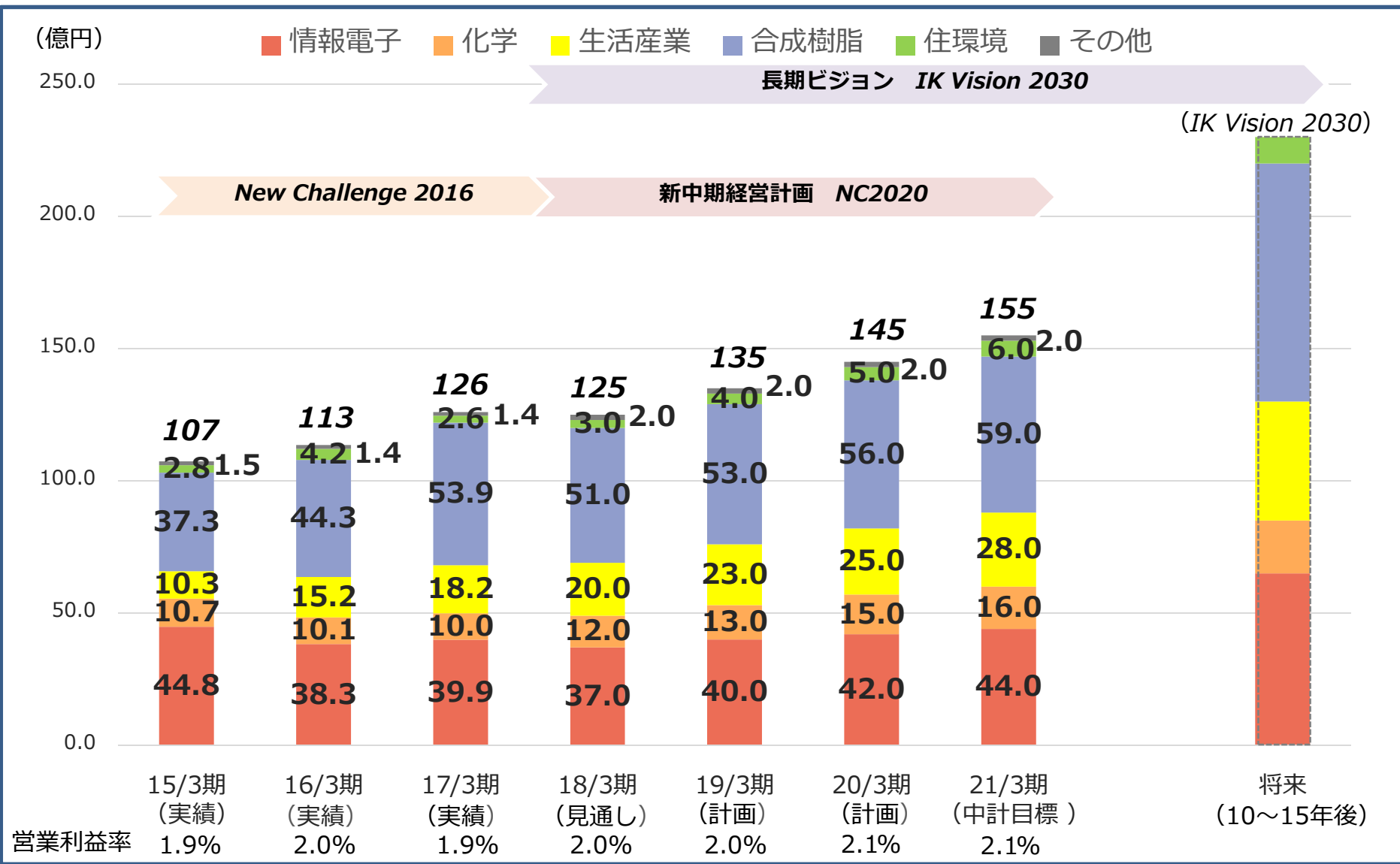
【参考】売上高・営業利益推移（過去15年）



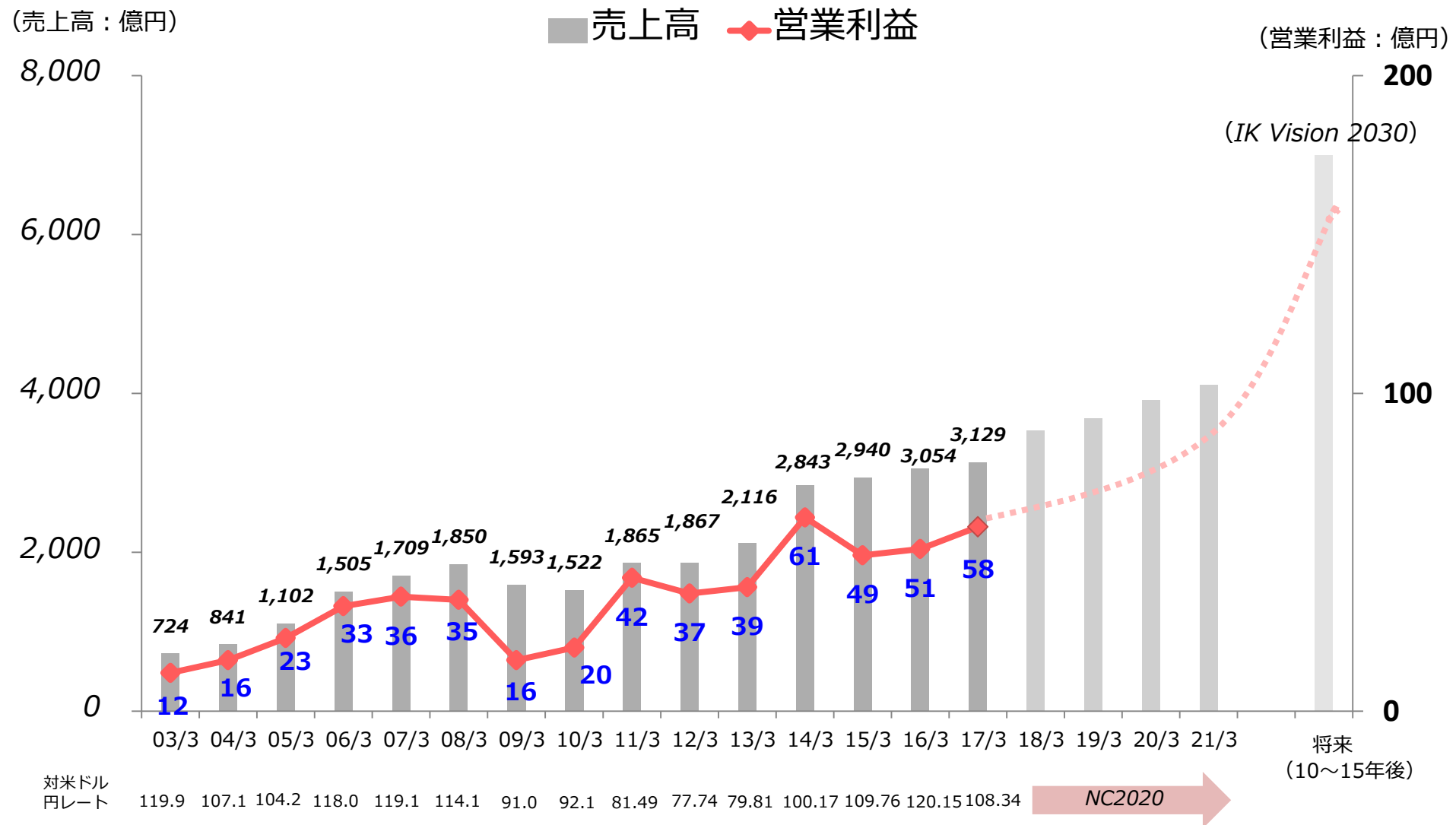
【参考】NC2020 セグメント別 売上高推移



【参考】NC2020 セグメント別 営業利益推移



【参考】海外の売上高・営業利益推移（過去15年）



□ I Rに関するお問い合わせ先

稲畑産業株式会社 財務経営管理室 I R企画部
TEL 050-3684-4007 FAX 03-3639-6410
E-mail inabata-ir@inabata.com

◆将来の見通しに関する注意事項

本資料にて開示されているデータおよび将来に関する予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくものです。従いましてこれらのデータや将来の予測は、不確定な要素を含んだものであり、将来の業績等を保証するものではないことをご理解下さい。

◆数値の表示に関して

資料内の億円単位、百万円単位の数値は、それぞれ億円未満、百万円未満を切り捨てておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。